

INDEX 目次

フィリピン料理教室 …………… P ①
日本語教室
「サクラファミリア」の開設 P ②・③
ブルガリアイースター講座… P ④
役員紹介…………… P ④
会員募集のお知らせ…………… P ④
編集後記…………… P ④

桜川市 国際交流協会 SIFA



フィリピン料理教室

令和8年2月15日、フィリピン料理教室を開催しました。講師に桜川市でのALT経験のあるフィリピンサマル島出身の井上マリアさんを招き、フィリピンの伝統料理3品の作り方とフィリピン文化の紹介を行いました。

当日のメニュー

●カルデレータ お肉や野菜をトマトベースで煮込んだシチューのような料理。お祝いや行事の際に食べられます。

- シニガン 酸味が特徴のスープで、フィリピンの家庭料理の定番。爽やかな酸味が食欲をそそり、暑い地域にぴったりの料理です。
- タホ 豆腐にタピオカと黒糖シロップがかかったフィリピンで人気のあるスイーツ。朝食で食べられることが多いそうです。

調理後に、マリアさんからフィリピン文化の解説があり、実際にフィリピンに足を運んだことがない方も、マリアさんの話を通して、身近に感じられる良い機会になったのではないかと思います。参加者からは、「フィリピンの料理を作る機会が今まで無かったので良い機会になった」などの声が寄せられ、有意義な時間となりました。

日本語教室「サクラファミリア」の開設



市内の外国人住民数の増加を受け、日本語教室「サクラファミリア」を開設しました。外国人住民が地域社会との交流を深めたり、市のサービスやルールを理解することで、日本人も外国人も安心して暮らせる地域づくりを目指しています。この事業は文部科学省の「地域日本語教育スタートアッププログラム」を活用しています。

■当市の在留外国人数の推移

	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
外国籍住民数	367人	479人	439人	454人	535人	658人	772人	907人
前年比	-	+112	△40	+15	+81	+123	+114	+135
人口に占める割合	0.9%	1.2%	1.1%	1.2%	1.4%	1.8%	2.0%	2.5%
主な国籍	ベトナム、インドネシア、中国、フィリピン、スリランカ、ミャンマー							

■これまでの活動と今後の計画

令和6年度	8月～9月	ニーズ調査
	10月	地域日本語教室開設講演会 「日本語でつながるまちづくり」
	11月	フォローアップ会議、 近隣市町村の日本語教室視察
	12月	地域日本語教育スタートアッププログラム 情報交換会
	2月	やさしい日本語講座
令和7年度	7月～8月	日本語教室ボランティア養成講座
	8月～10月	試行的な日本語教室
	9月・10月	近隣市町村の日本語教室視察
	11月	事業報告会
	12月	地域日本語教育スタートアッププログラム 実施団体情報交換会
令和8年度 (予定)	1月	やさしい日本語講座
	6月	日本語教室ボランティア養成講座
	7月～8月	試行的な日本語教室
	10月～11月	試行的な日本語教室
	1月	事業報告会

「地域日本語教育スタートアッププログラム」とは

「生活者としての外国人」を対象とした日本語教室が開設されていない地域となっている地方公共団体に対し、地域日本語教育の専門家を派遣することにより日本語教室の設置に向けた支援を実施し、各地に日本語学習環境が整備され、日本語教育の推進が図られることを目的としています。

桜川市では3名の地域日本語教育アドバイザーのサポートを受けながら日本語教室を開設しています。サポートが受けられる期間は3年間で、令和8年度がプログラムを活用できる最終年となります。

日本語教室ボランティア養成講座

令和7年7月～8月

8月から始まる日本語教室に向けて、学習支援ボランティアとして活動を希望する方を対象に、全4回の「日本語教室ボランティア養成講座」を実施しました。講師からの講義や参加者同士のグループワークを通じて、教室でのボランティアの役割や教室で扱うテーマの探し方などを学び、テーマに関する会話内容についても検討しました。参加者同士の意見交換が活発に行われ、充実した学びの場となりました。「外国人の立場になって考えてみるのが大切であることが分かった」「テーマについてどのように話しかけ、会話を盛り上げたら良いか考えることができた」などの声があり、日本語教室の開設に向けた有意義なスタートを切ることができました。



▲ボランティアの役割について説明



▲講師からのアドバイスを受けながらグループワーク



▲日本語教室での会話内容を検討

8月～9月の日曜午後に全4回、10月の水曜午後に全5回の計9回にわたり、日本語教室を桜川市生涯学習センター「さくらす」にて開催しました。アジアや中近東・アフリカ地域の7か国、計21人の学習者が参加しました。教室の名前は、第1回の日本語教室において参加者で話し合い、「サクラファミリア」に決定しました。

日本語教師对学习者のようなスクール形式ではなく、日本人住民と外国人住民が積極的に交流しながら学ぶグループワーク形式を導入し、学びの場としてだけでなく、地域交流を促進する役割を教室が果たすことを目指しました。

学習者の方々からは、出身の国の話や住んでいる地域の話日本語で楽しそうに話す様子が見られ、「対話型の教室でためになり、とても良かった」との感想がありました。一方、学習支援ボランティアの方々からは、学習者がたくさん話せるよう、質問をしたり傾聴したりして親身に接している様子が見られました。「わかりやすい日本語とジェスチャーを多用し、理解出来ているのか、楽しく参加できているのか、参加者の皆さんの表情を読み取る努力をした」「日本の習慣や文化に戸惑っていないか、身近で接することで分かることもあった」との声が聞かれました。

●教室のテーマと内容の紹介

	テーマ	内容
第1回	お互いを知る	自己紹介・出身地・日本に来た時期などをグループで話す
第2回	図書館へ行こう	「さくらす」担当者による図書館の利用方法の説明、館内ツアー、図書館クイズ
第3回	健康	体の名前を覚える、病院や薬局でのロールプレイなど
第9回	ごみの出し方	市役所生活環境課によるごみの出し方の説明 グループでごみの出し方について分からないことなどを話し合う



▲熱心に説明を聴く参加者の皆さん



▲薬局の店員とお客さん役でロールプレイ



▲テーマについてグループで会話



▲学んだことをみんなの前で発表

事業報告会

令和7年11月28日

市民や外国人を雇用している企業、学習支援ボランティアの皆さんに参加いただき、日本語教室の事業報告会を開催しました。教室の目的や立ち上げまでの活動の報告、今後の教室に関する意見交換を行いました。意見交換では、広報の手段や学習者に継続参加してもらうにはどうしたら良いかなどについて話し合い、様々なアイデアが出されました。参加者から「この会に参加して、初めてこの事業の主旨を理解した。外国人と共存する社会のためにも、今後重要となると思う」との感想がありました。



▲日本語教室について意見交換

やさしい日本語講座

令和8年1月31日

外国人住民との円滑なコミュニケーションや日本語教室での学習支援に役立ててもらうことを目的に、長野県地域日本語教育コーディネーターの一氏隼人氏を講師に迎え、「やさしい日本語講座」を開催しました。講座ではやさしい日本語の意義や特徴の解説に加え、例文をやさしい日本語に書き換える練習問題を行いました。さらに、実際の日本語教室でやさしい日本語を活用するアイデアについてグループで話し合いました。参加者からは「何気なく使っている日本語が、外国の方にとって分かりづらいものだったことに気づいた」といった感想が寄せられ、学びの多い時間となりました。



▲講師がやさしい日本語を解説

6月1日、桜川市生涯学習センター「さくらす」にて「ブルガリア文化講座」を開催しました。当日は、ブルガリア出身のアントニオさんを講師としてお迎えし、「ヴェリクデン（復活祭）」と呼ばれるブルガリアのイースターについて学びました。講座では、ブルガリアのイースターの習慣をご紹介いただき、特にイースターエッグ作りのワークショップが参加者の皆さんに好評でした。卵を好きな柄にデコレーションし、食紅を混ぜた水に浸し鮮やかな卵を作りました。その後は、参加者全員でゆで卵を使ったゲームで盛り上がりました。卵同士をぶつけ合い、ひびが入ったら負け、最後まで割れなかった人が勝ちといったトーナメント形式でゲームを行い、楽しい時間を過ごしました。

また、質疑応答の時間にはイースターのことのみならず、ブルガリアの生活や文化についての質問が相次ぎ、参加者のブルガリアへの関心が高まっている様子が見られました。「卵に色を付けるという作業が新鮮で楽しかった」「ブルガリアを訪れてみたい」という声が多数寄せられました。講師のアントニオさんの丁寧で温かいご説明のおかげで、参加者の皆さんはブルガリア文化をより身近に感じられたようです。桜川市国際交流協会では、今後も友好交流都市の文化を紹介するイベントを企画していきます。次回のイベントにもぜひご参加ください。



▲アントニオさんによる文化紹介



▲参加者の皆さんが作成したイースターエッグ



▲アントニオさんと記念撮影



▲ゲームを楽しむ皆さん

桜川市国際交流協会 役員紹介

- 会長 大塚 秀喜
- 副会長 大関 隆司
- 理事 風野 和規
- 理事 皆川 光吉
- 理事 渡辺 義光
- 監事 萩原 剛志
- 顧問 金子 元則
- 顧問 浅賀 正治
- 顧問 下条 豊

桜川市国際交流協会は、国際相互理解の増進等を目的として、会員の皆様のご支援とご協力により運営されています。当協会では会員を随時募集しています。協会の活動については、ホームページをご覧ください。



◀国際交流事業一覧
(桜川市 HP)

会員募集のお知らせ

会員情報

- 個人会員 35人
- 法人会員 26法人
- 団体会員 4団体

会費

- 個人会員 1,000円
※高校生以下は免除
- 法人会員 1口 5,000円以上
- 団体会員 1口 5,000円以上

会員特典

協会主催事業への参加費割引

今年度はいよいよ日本語教室の開設を行いました。はじめての日本語教室のため手探りの状態でしたが、学習支援ボランティアの方々や近隣市町村の教室、茨城県の関係者の協力もあり、活動の基盤を徐々に整えていくことが出来ました。日本語教室「サクラファミリア」が地域に根ざし、多くの方々にとって親しみやすく、安心して学べる場になることを願い、これからも運営に取り組んでまいります。(事務局)

桜川市国際交流協会事務局(桜川市企画課)
〒309-1293 桜川市羽田 1023 番地
TEL: 0296-58-5111(代表)・75-3111
FAX: 0296-58-5082
E-mail: international@city.sakuragawa.lg.jp

